

自立活動学習指導案

日 時 令和〇年〇月〇日 (〇)
第5校時 13:40~14:25
対象 第2学年2名
学校名 小学校
授業者 〇〇 〇〇
会 場 教室

1 単元名 相手の良いところを見つけよう

2 単元の目標

- ・相手の良いところを選択肢の中から選ぶことができる。
- ・相手に良いところを伝えることができる。

3 指導観

(1) 単元観

本単元は、特別支援学校学習指導要領 小学部・中学部学習指導要領（平成29年4月告示）
第7章 自立活動 第2 内容

3 人間関係の形成

(1) 他者とのかかわりの基礎に関すること。

6 コミュニケーション

(1) コミュニケーションの基礎的能力に関すること。

を受けて設定した。

上記3(1)、6(1)では、人と関わる楽しさや心地よさを味わえるような活動を通して、他者と関わりたいという意欲をもたせる。また、話す人の方向を見るなどの、話を聞く態度を身に付けるようにする。

以上の項目を選定し、相互に関連付けて指導内容を設定した。

(2) 児童観

個人情報のため、当日に配布予定。

(3) 教材観

本単元は、他者との関りを安定させるために取り組む。相手が喜ぶと思う褒め言葉を考えることで、他者理解を促すとともに、褒められることや感謝されること、理解し合うことの心地よさを実感できるようにする。また、ゲーム活動を通して、手順や話型を守りながら、コミュニケーションの基礎的能力を身に付けられるようにする。

4 個別指導計画

(1) 長期目標

- ・他の人から働きかけがあったときの適切な対応方法を身に付ける。
- ・人に対する緊張や不安を緩和し、他の人に働きかける方法を身に付ける。

(2) 個別指導計画 (年間 35 回)

	単元名	○ねらい ・ 活動内容	時数
前期	お名前すごろく	○自己紹介をしながら、一緒に活動することに慣れる。話し方や聞き方の基礎を身に付ける。 ・苗字と名前が別々に書かれたサイコロを二つ投げて、組み合わせさせた文字数マスを進み、提示された活動に挑戦する。	1
	くじ引きトーク	○自分の考えや気持ち言語化し、表現することに慣れる。また、相手の考えを知る。話し方や聞き方の基礎を身に付ける。 ・質問が書かれたくじを引いて、答える。	3
	なかよしゲーム 本時 (1/4)	○相手のことを考え、伝えることができる。話し方や聞き方の基礎を身に付け、手順を守ることの良さを実感させる。 ・手持ちのカードの中から、相手が一番喜ぶと思う褒め言葉を選び、相手に伝える。褒められた人は、選択された褒め言葉の中から一番うれしい言葉を選び、伝える。	4
	会話ルールブック	○人のコミュニケーションについて考える。 ・コミュニケーションの謎が分かる本を読み、日常生活を振り返る。	9

5 指導に当たって

- ・児童が安心して学習に取り組めるように、予想される不安要素を伝え、気持ちを受け止め励ましたり、不安軽減策を提案、試行したりする。
- ・多面的・多角的な視点をもてるように、声かけや発問などをする。
- ・適切な対応ができるように、コミュニケーションのポイントを視覚化し提示する。

6 本時 (1/4時)

(1) 本時の目標

- ・相手の良いところを選択肢の中から選ぶことができる。
- ・相手に良いところを伝えることができる。

(2) 見取りの観点

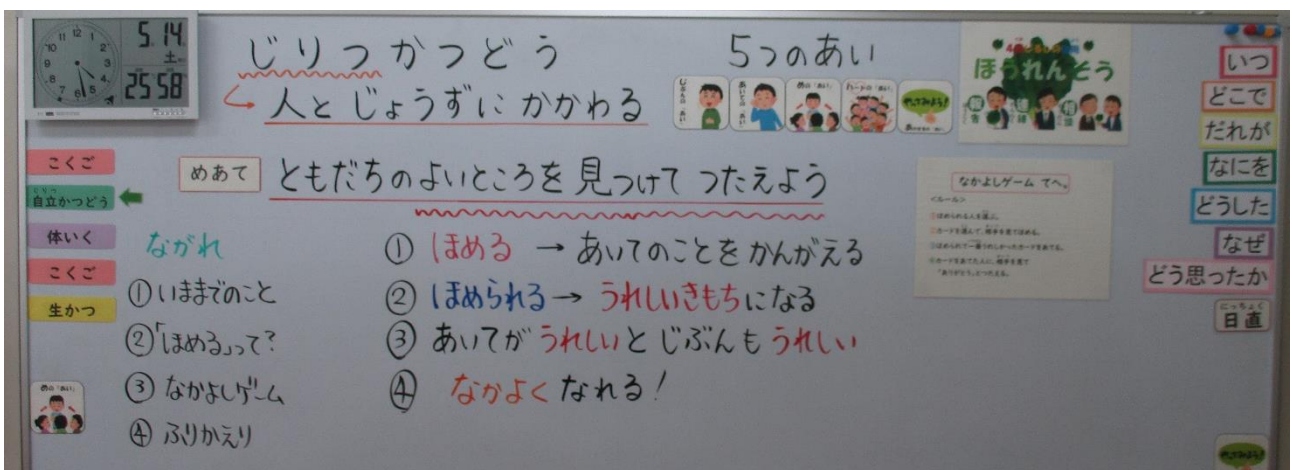
- ①カードを選択することができたか。
- ②相手に伝えることができたか。

(3) 本時の展開

時間	○学習活動・学習内容	●設定理由 ・指導上の留意点	◎見取り の観点
導	○始まりの挨拶をする。	●気持ちを学習に切	

入 5 分	○既習事項を確認する。 ・「5つのあい」「ほうれんそう」 ○本時の学習内容とめあてを確認し見通しをもつ。 めあて【 ともだちのよいところを見つけて つたえよう 】	り替える。 ●安心して学習に取り組めるようにする。	
展 開 ① 10 分	○【「ほめる」ってなに?】 ・ほめられるとどんな気持ちになるのか、相手とどうなりたくなるのかを考える。 ・「ほめる」ことの説明文を音読する。	●「ほめる」ということについて、知る。	
展 開 ② 25 分	○【なかよしゲーム】 ・ルールを確認する。 ①ほめられる人を選ぶ。 ②カードを選んで、相手を見てほめる。 ③ほめられた人は「ありがとう」と目を見て伝える。 ④ほめられて一番うれしかったカードをあてる。 ⑤カードをあてた人に、相手を見て「ありがとう」と伝える。 ⑥ほめられる人を交代して、①～⑤を繰り返す。 ・言葉の意味を理解しているか確認する。	●「ほめる」体験をする。 ●相手を見て、伝える練習をする。 ●語彙力を増やす。	① ②
ま と め 5 分	【振り返り】 ・学習の振り返りをする。 ・終わりの挨拶をする。	●児童の頑張りや良かった部分を褒めて、価値付けする。	

(4) 板書計画



(5) 授業観察の視点

- ・児童が安心して学習に取り組めるように配慮することができていたか。
- ・多面的・多角的な視点がもてるように、声かけや発問であったか。
- ・適切な対応ができるような、提示であったか。